

地域高規格道路「松本糸魚川連絡道路」 平成 29 年（2017 年）の主な経過

長野県 建設部 道路建設課

H28年	安曇野北 IC(仮称)～大町市街地南の「計画案」を公表（1/29） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">公表後の経過</div> <ul style="list-style-type: none">▶説明会を計 18 回開催：約 800 名が参加（H28.1～H28.4）▶パブリックコメントの実施結果を公表：148 名から 164 通のご意見が寄せられる（H28.6）▶意見交換会を開催：7 地区 8 会場に約 220 名が参加（H28.10～H28.12）	
H29年 2月	「計画案」の今後の進め方等について県議会で説明（2/27） (2月県議会一般質問 建設部長答弁) <ul style="list-style-type: none">▶安曇野市の新設区間の整備を優先することが重要と説明 (より大きな整備効果を発現させるために高速道との接続が不可欠なため)▶現道活用区間の事業化に向けた検討も併せて進める必要があると説明 (広域的な観点から整備効果をできるだけ早く発現させるため) など	
4月	国道 148 号 白馬村 白馬北工区が事業化 <ul style="list-style-type: none">▶事故多発箇所対策としてカーブや勾配を緩くする計画を事業化▶小谷村雨中バイパスのトンネル残土を有効活用して施工 (当該箇所は現道を活用する区間として想定)	
7月	国道 148 号 小谷村 雨中バイパス トンネル工事発注 <ul style="list-style-type: none">▶村中心部の交通事故が多く、騒音・振動が著しい区間のバイパス事業▶北側の 2 号トンネル（約 750m）の工事を発注 (地域高規格道路と同等の規格で整備)	 <p>2号トンネル北側から見た完成予想図</p>
10月	安曇野市が意見交換会を開催（10/5） <ul style="list-style-type: none">▶現状についてご意見をお聞きするために安曇野市が開催▶関係者約 30 名が参加し、意見交換を実施▶地域への影響懸念をはじめ、多様な意見が交わされる	
通年	安曇野市～大町市間において関係者協議や各種調査等を実施 <ul style="list-style-type: none">▶新設区間：関係者との協議や、計画案への配慮事項の検討等を実施▶現道活用区間：関係者との協議や、高瀬橋西交差点における交通量調査等を実施▶大町市街地区間：関係者との協議や、騒音・振動調査等を実施	

【参考：新潟県側の状況】

新潟県が新潟県内の一部区間(小滝～糸魚川 IC)のルート帯を決定（11/30）

- ▶地区説明会を全 11 会場で開催し、181 名が参加（7～10 月）
(長野県内でも県境に近い小谷村大網地区で説明会開催)
- ▶パブリックコメントを実施し、27 名からご意見が寄せられる（8～9 月）
- ▶小滝～山本橋間と山本橋～糸魚川 IC 間のルート帯を決定（11 月）



小谷村大網地区での説明会